



き ず な



～一致団結～

事後学習始まる。

校外学習後の作文を読んでもと、「友人との絆が深まった」や「炊飯器やガスコンロのありがみがわかった」等の内容が書かれていました。みんなの作文を読んで今回の校外学習ができて本当に良かったと思っています。

さて、事後学習は班で作成した新聞を発表することになっています。

新聞のテーマは、「**校外学習からシブヤを知ろう！！**」です。

今回の事後学習では、班で分担を決めて、個人で取り組むことができる内容になっています。最終的には、個人で作成した紙を模造紙に貼って完成となります。担当する内容によって早く終わる人が出てくると思います。早く終わった人は、レイアウトを考えてください。この新聞は、学習発表会で展示する予定です。たくさんの人にみんなのがんばりを見てもらいたいです。ぜひ、目立つようなレイアウトにしてください。ちなみに、新聞完成の日にちは決まっています。遅れていると感じている人は、自分で時間を調整して間に合うように作業を進めてください。

テーマにある「シブヤを知ろう」ということで、渋谷区について調べています。調べてみると今まで知ることができなかった内容があり、新しい発見ができてうれしそうに教えてくれる人がいます。ぜひ、みんなが知らないようなことを教えてください。中には、渋谷区のホームページを見るのが初めてだった人がいたようです。いい機会になりました。渋谷区を知るために、渋谷区以外のことを調べている人がいます。調べた内容をもとに客観的に比較することができます。調べた内容を、班で共有して素晴らしい発表ができるように工夫をしてください。

この発表についてですが、調べた内容をそのまま読むのではなく、聞いている人のことを考えて発表しましょう。発表者が、考えなくてはいけないことは、

・一番に伝えたいことは何？

・伝えたいことをどうやって伝える？

以上2つです。伝えたい部分を強調するためにどんな方法が考えられますか？先生たちの話し方などを研究して実践しましょう。身近なところにヒントはたくさんあります。

すでに下書きを終えて、清書している人がいれば、ワークシートにしていねいに下書きを行っている人がいたりみんなの様子は様々です。発表までこだわってくださいね。どうやったらみんなに伝わるか…。人それぞれいろいろな方法が考えられそうです。いろいろ試してください。今後役に立つことになると思います。

～土曜日のみんなの取組の様子～



こんな一言うれしいです。

提出物を渡すときに「おねがいします」やプリントをもらうときに「ありがとうございます」と声をかける人がいます。こういったさりげない一言を聞くことができると嬉しいです。声をかけられない人の中には、心の中には抱いている感情だけど恥ずかしくて伝えることができない、伝えるタイミングがわからないという人がいるかもしれません。まわりの人は、「この人は、言えないだけで心の中では感謝している」と考えると思いますか？難しいですよね。反対に表現(=伝える)できる人には、「感謝の気持ちを伝えることができる人だ」と興味を抱くきっかけになるかもしれません。

さて、提出物について前回の学年通信でみんなに伝えたところ、翌日の提出物の提出状況は大幅に改善されました。意識を変えればみんなできることがわかりました。常にその意識で行動しましょう。そんな中、一つ気になったことがありました。提出されたプリントの状態です。しわくちゃの状態や破れている状態のものが何枚もありました。受け取る人のことを考えてください。これは、先生のことだけでは、ありません。お家の人のことも考えてください。しわくちゃや破れている状態のものを受けてどんな感情を抱くでしょうか？みんなは、2年後に進路選択を控えます。その際に、志望している上級学校に提出する書類がこのような状態だはどうでしょうか？可否に関係することはないでしょう。しかし、受け取った方の表情が変われば、「まずいことをしたんだ」と思うかもしれません。そこで気が付くようだと遅いです。今からしっかり管理ができるようにファイルを使用し、ていねいに扱うようにしてください。